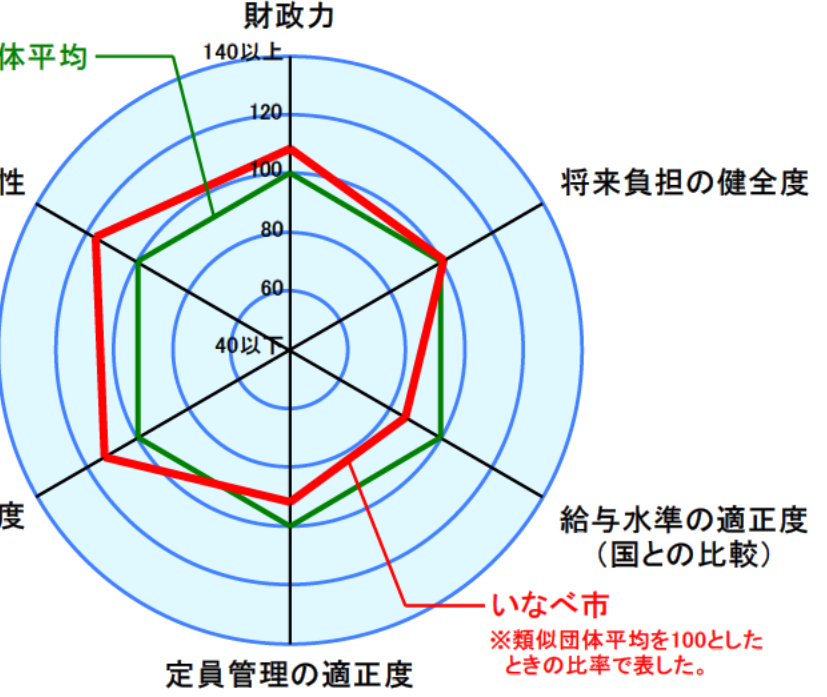
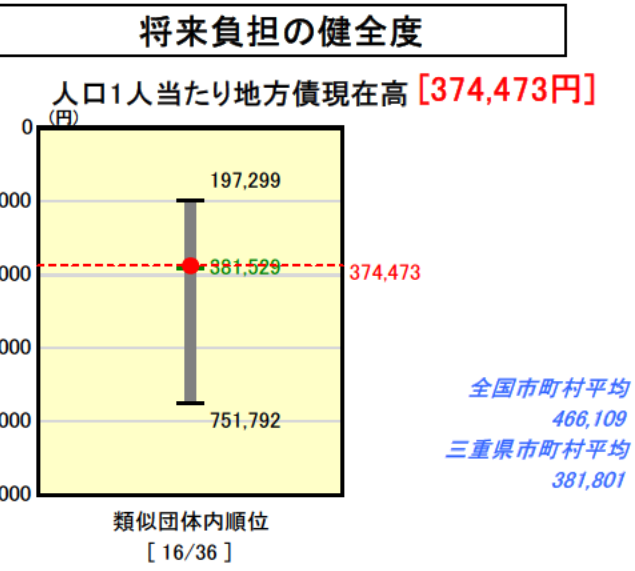
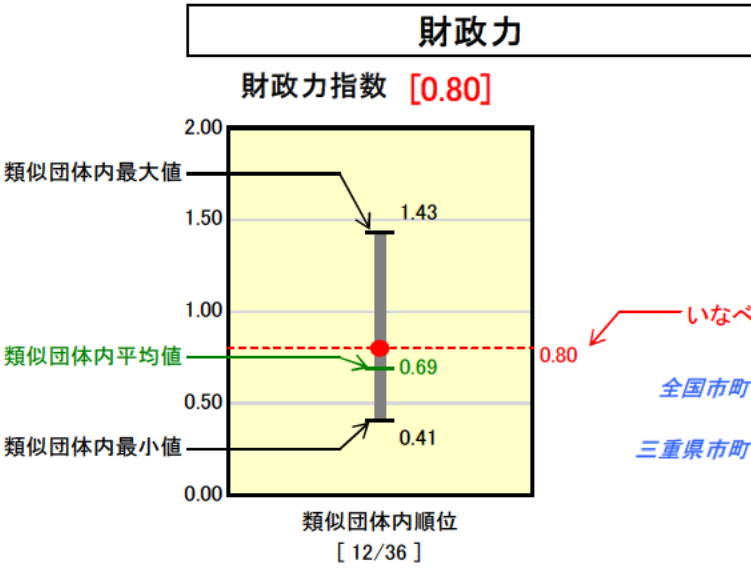


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 いなべ市

人口	45,436 人(H17.3.31現在)
面積	219.58 km ²
歳入総額	23,957,267 千円
歳出総額	22,136,014 千円
実質収支	1,578,493 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数 : 基準財政収入額は、市内企業の業績により伸びている。しかし、基準財政需要額に反映しない合併による対応に経費が必要なため、数値を楽観できない。

経常収支比率 : 類似団体平均を下回っているが、公債費、社会保障経費の増加により比率の悪化が予想される。今後人件費の削減など、行財政改革への取り組みを通じて経常的経費の削減に努める。

起債制限比率 : 類似団体の平均を下回っているが、旧町が実施した事業、合併特例債を利用した事業に係る市債の償還等に伴い比率の上昇が予想されるので、適切な地方債管理をおこなう。

人口1人当たり地方債残高 : 類似団体の平均を下回っているが、合併特例債、臨時財政対策債などによる増加が予想されますので計画的な運用に努める。

ラスパイレス指数 : 合併前の職制と給与の格付けを新市へ引継いだ。旧町における早期の管理職級など上位への格付けが影響し類似団体平均を上回っている。今後は給与制度を適正に運用し一層の適正化につとめる。

人口1,000人当たり職員数 : 4町が合併し新市へ職員を引継いだ結果、類似団体を上回った。退職者の不補充や民間委託・民営化等の推進により、平成17年度から5年間で職員数を約6% (25人) 削減する。

